

6号様式

排出量削減報告書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更				
(宛先) 京都府知事		令和7年7月29日				
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府長岡京市馬場人塚1番地2		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 株式会社 木村製作所 代表取締役 木村 俊彦 電話 075 - 953 - 2721				
主たる業種	精密金属加工業	細分類番号	2 6 6 3			
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 産業部門 <input type="checkbox"/> 業務部門 <input type="checkbox"/> 運輸部門 主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択					
計画期間	令和4年4月 ~ 令和7年3月					
基本方針	環境負荷の低減、環境保全を意識した行動により、温室効果ガス排出量を4%以上削減(基準年度比)を目指す。					
計画を推進するための体制	代表取締役を中心とした幹部会にて、新たに制定した実施計画の進捗状況を管理徹底する。					
削減率						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (3)年度	第1年度 (4)年度	第2年度 (5)年度	第3年度 (6)年度	3年平均増減率 (基準年度比)
	事業活動に伴う排出の量	376.0	241.9	225.3	308.5 トン	-31.2 パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	0.0	0.0	0.0	0.0 トン	
	評価の対象となる排出の量	376.0 トン	241.9 トン	225.3 トン	308.5 トン	-31.2 パーセント
	年度ごとの増減率(基準年度比)		-35.7 %	-40.1 %	-18.0 %	
目標の根拠	令和2年度は新型コロナウイルスの影響もあり、生産量も減少。令和3年度を基準値としたうえで、目標削減率である4%以上の削減を目指す。					
具体的な取組及び措置の内容	1年目	電力会社を変更。生産管理を徹底し、無駄なエネルギーロスがないように、機械の適正な運転管理や、地道な節電に努めた。				
	2年目	従来、生産現場で活用してきた紙面での作業工程表をタブレット端末へと切り替えペーパレス化を実施。製造過程で発生する不良数削減によるエネルギーコスト低減に務めた。				
	3年目	1年目・2年目に実施したペーパレス化や製造ロス削減の取組を継続しつつ、新たに室内空調の温度設定の適正化や、デマンド監視によるエネルギー使用量の平準化にも取り組んでいる				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	可能な限りのペーパレス化、製造ロス削減の取組みなど。					
特記事項						

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。